

なっとくんの

# なるほどなっとくニュース

県立山口  
博物館  
学校地域  
連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、No.1 から県立山口博物館のホームページで見ることができます。

2013年9月26日

No.28

すば けいかん さいがい じ ふせ りょう くふう  
**この素晴らしい景観は、災害(地すべり)を防ぎ、利用する工夫です。**

4月



農水省の「日本の棚田百選」に選ばれた東後畑（油谷）棚田。西向きなので沈む夕日で有名です。中央が立石観音。

9月

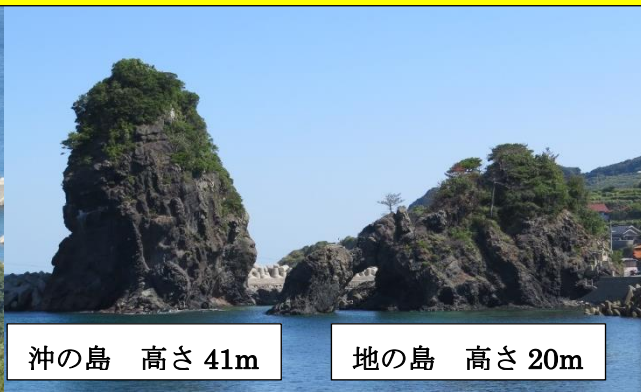


やまぐちけんほくせいぶ ながとし ゆ や ひがしうしろばた にほん  
山口県北西部の長門市油谷の東後畑。そこには日本  
ゆうすう たなだ ひろ たなだ じ おお  
有数の棚田が広がります。しかしこの棚田は、地すべりが多  
ちいき のうぎょう いとな すいでん やくわり い  
いこの地域で農業を営むための水田の役割とも言えるも  
のです。「自然との共存・・・」と口で言うのは簡単ですが、  
じっさい きょうぞん たいへん たなだ い じ  
実際に共存していくのは大変です。この棚田の維持のよう  
じみち かつどう しぜん けいかん ひと く まも  
な地道な活動が自然や景観と人の暮らしも守っています。



同じく農水省の「日本のため池100選」の深田のため池。ため池も用水の確保とともに地すべりを防いでいます。

かざんかつどう なご りょうし しんこう たいしょう  
**火山活動の名残りが、漁師さんたちの信仰の対象に・・・**



沖の島 高さ 41m

地の島 高さ 20m

棚田から見た立石観音。約10万年前の玄武岩マグマの貫入によるもので、マグマの通路だけが残った貴重なもの。

西側の海岸から見た立石観音。近づくとかかなり巨大。大きな海食洞（海のはたらきによってあいた穴）が見えます。

立石観音  
山口県立博物館 保存係 山本 浩二  
昭和五十七年三月二十一日撮影  
立石観音は、立石漁港にそびえたつ高さ四十一メートルの沖の島と、二十メートルの地と呼ばれる二つの岩峰です。日本海の荒波にそそり立つ巉岩は、北瀬海岸の象徴ともいえるもので、山口県立博物館でも北瀬の姿としてパネル写真で紹介されました。岩質は玄武岩でこの地方にたくさん分布している岩石ですが、溶岩が冷えて固まる際の体積変化によって生じた同心状の節理（糸の目の割れ目）が観察され溶岩が崩れ出す時のものすこぶりがうかがえます。島の頂上には観音菩薩が安置され漁民の守り神として崇拝されています。

写真は、一番上以外は9/20撮影

県立博物館で紹介されたことが記載してありました。



地の島の頂上には祠があります。

